

<p>第7-9回 (2011.11.21,28,125)</p>	<p>参考資料の種々とその利用 古賀 崇准教授</p>
<p>■ 第7回：講義 (学術情報メディアセンター南館 203、204) 参加者 40名 配布資料：A4 冊子形状 1冊 (資料1-5)、解答用紙 (前)</p> <p>□ 先行研究を調査する必要性とその方法を理解してゆく上で、レファレンスツールの種類・特徴・使用法を覚える。</p> <p>○ 参考資料の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参考資料の大きな分類… <ul style="list-style-type: none"> * 事典：ことからの概要や背景を把握する。(資料1) <ul style="list-style-type: none"> → 百科事典：知識体系の構造化/専門家による定説の提示/一般向け 索引から引き、テーマの概要・主要文献・権威者を知ることができる。 引き方の説明 (資料2、資料3)、百科事典データベースの検索 → 専門事典：より深い知識 * 辞書：ことばの意味や用例を把握する。 <ul style="list-style-type: none"> → 新語辞書：より新しい(時事的な)知識 * 百科事典データベース：ジャパンナレッジなど信頼性の高い情報が得られるデータベース ○ 「参考書以外」に注意すべき情報源など <ul style="list-style-type: none"> ・ レビュー/リーディングス ・ 資料の種類による質の違い・特徴を知る (書籍と論文、入門書と教科書と専門書、一般雑誌記事と学術雑誌論文、学術雑誌論文と紀要論文) ○ ジャパンナレッジの活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ アクセス方法と検索方法 ・ 主要な情報源と項目の見かた (執筆者名、関連サイト、参考文献など) ● 演習内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題1「テーマを設定して、キーワード(検索する語)を考える」 興味のあるテーマについて、インターネット上のツールを用いて関連のある語句や情報をブラウジングし、以降の課題で調べるテーマとキーワードを設定する。また、キーワードの上位語、関連語、下位語を確認する。 ジャパンナレッジ、MeSH、新書マップ、NDLサーチなどを利用(資料3、資料4) (※ジャパンナレッジは当日18時まで同時接続数を無制限に開放) <p>■ 第8回：演習 (附属図書館3階ライブラリーホール) 参加者 39名 配布資料：主題別事典リスト3種 (各自必要なものを取らせる)、附属図書館利用案内 (希望者)</p> <p>□ 図書館で専門百科事典類を中心とする参考図書を用いて、基礎文献を調査し、所在を確認する。 ライブラリーホールにて先生から前回講義の補足および演習の説明 (約15分)。 『附属図書館利用案内』を希望者に配布、また主題ごとに作成した「主題別事典リスト」を机上配布。 受講生を4グループに分け、3階～1階へ移動しながら簡易の附属図書館ツアーを行う (約15分)。1階参考図書コーナーまで誘導後、順次課題開始。</p> <p>● 演習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題2「参考図書を引いて、基本文献を探す」 1階開架の参考図書を索引から引いて項目の掲載ページを確認する。役立つ項目の基本文献を書き出し、1階端末コーナーのKULINEで所在を確認。京大内になければNIIを使用して他機関での所蔵を検索する。 <p>■ 第9回：演習 (学術情報メディアセンター南館 203, 204) 参加者 44名 配布資料：解答用紙 (後)</p> <p>□ 信憑性の高い電子データベースで学術雑誌記事を調査し、その論文の入手法を確認する。 先生および補助者から CiNii Articles、Web of Science、Scopus と演習内容の説明 (約30分)。(資料5)</p> <p>● 演習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題3「CiNii Articles (日本語論文)・各種データベース (外国語論文) を使って論文を探す」 課題2で調べた項目の執筆者をその研究分野の権威者と考え、著者名から論文を検索する。上位語・下 	

位語・関連語を意識してキーワード（日・英）からも検索する。被引用件数を参考に論文を選び、雑誌の所在を確認する。

(担当：大前 梓)